

災害にも強い水道をめざして

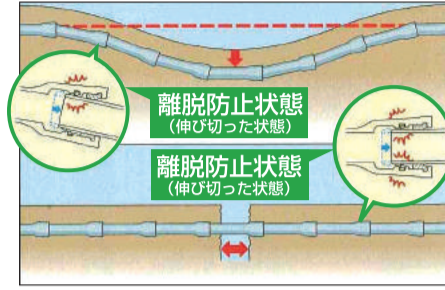
大地震などの災害時でも安定して水を供給できるよう、災害に強い施設づくりを進めています。

！浄水場・給水場や、管路の耐震化

- 浄水場や給水場は、配水池などコンクリート建造物の耐震化を主に進めています。
- 震災時に憂慮される漏水や断水の被害を防ぐため、水道管の新設や、老朽化した水道管の更新の際は、「耐震継ぎ手」を使用した管を取り付けています。



配水管の取替工事



←地盤沈下時のイメージ

◀耐震継ぎ手のしくみ
水道管の継ぎ手部分に伸縮性があり、地震で地盤にひずみが生じても、水道管が抜けたり破損したりしないようになっています。

←地割れ発生時のイメージ

！物資の備蓄

- 応急給水袋や、破損した水道管の復旧に必要な資材・機材等を、各水道事務所や資材倉庫に備蓄しています。他地域で災害が起こった場合にも、被災地域へ迅速な支援ができるように用意しています。



資材倉庫の全景と内部の様子

水源をきれいにしよう!

～印旛沼浄化推進運動～



水道局も参加しているの？

参加しています。水道水の原料は、河川や湖沼の水です。千葉県水道局は、利根川、江戸川、印旛沼、高滝ダムから水を取水しており、印旛沼は大切な水源の一つです。

印旛沼は水道水のほかにも農業用水や工業用水の水源にもなっており、また、水産漁業や県民の憩いの場としても大切な場所です。しかし、昭和30年代以降、周辺の都市化などに伴い水質が悪

10月1日～31日は、県や印旛沼流域の市や町、関係機関が一体となり「印旛沼浄化推進運動」を実施します。

化し、水質改善が強く望まれています。そこで、毎年10月を「印旛沼浄化推進運動月間」として、沼や周辺の清掃活動、水質浄化に関する啓発イベントが重点的に行われています。

水源の水が汚れていると、浄水場できれいな水道水にするために大変な費用・労力がかかります。水源の水がきれいであれば、水道水にするための費用・労力は少なくてすむのです。



水源を汚さないために、どんなことができるかな？

家庭でできることがたくさんあります。

- 洗剤は適量を使用しましょう。
- 台所に油やゴミを流さないようにしましょう。



- ・油はなるべく使いきり、食器や鍋の汚れは、新聞紙やぼろ布で拭きとってから洗いましょう。
- ・流しでは三角コーナーや水切りネットを使用しましょう。
- ・使用済み天ぷら油500mlを流しに捨てると・・・コイやフナが住める水質にするには、お風呂(1杯 300ℓ) 560杯分の水が必要…!!

- トイレには、水に溶けないものを流さないようにしましょう。
- ゴミは決められた場所に持っていか、家庭に持ち帰りましょう。



これからも「安全でおいしい水道水」をお届けしていくためにも、水源をきれいにすることが必要です。ご協力よろしくお願いします。

こんなおいしい水が、水道水だなんて。



●「おいしい水を、蛇口から。」● ～首都圏New!水道水キャンペーン～

首都圏の7水道事業体(埼玉県企業局、千葉県水道局、東京都水道局、神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、さいたま市水道局)が共同で、水道水の飲み水としてのおいしさをPRするポスターを作成し、各地に掲出しています。野球選手の片岡安祐美さんがモデルの、さわやかなポスターです。

